

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域連携DMO	
日本版DMO候補法人の名称	公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 相模原市の一部（緑区根小屋、長竹、青山、鳥屋）、厚木市の一部（飯山、七沢）、愛甲郡愛川町及び清川村の全域	
所在地	神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-4	
設立時期	平成4年10月1日	
職員数	122人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 理事長 和田 久 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	関係市町村長、学識経験者、法律の専門家から構成される公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の理事会の代表理事であり、財団を代表し、宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化及び水源環境理解促進事業を推進している。
各種データの分析・収集等（マーケティング）の責任者（専門人材）	（氏名） 常務理事兼事務局長 宮崎 仁男（専従） （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の常務理事兼事務局長として宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化及び水源環境理解促進事業を推進し、財団における観光振興や地域マーケティング等の事務統括を行っている。
	総務経営課長 志村 政浩 （出身組織名） 神奈川県派遣	財団における経営戦略会議の構成員として、乗物、駐車場、施設関係の統計データの取りまとめや分析を行うとともに、中長期経営計画等の経営戦略や財務指標の取りまとめや分析を担当している。
	企画振興課長 加藤 時三 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団における経営戦略会議の構成員として、乗物、駐車場、施設関係の統計データの基礎分析、課題対策、宮ヶ瀬湖周辺施設の来訪者動向調査をとりまとめ、事業・イベント企画、収益事業を行っている。
	施設課長 菅野 泰彦 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団における経営戦略会議の構成員として、乗物、駐車場、施設関係の統計データの基礎分析、課題対策を行うとともに、国受託事業、県指定管理事業の進捗統計などの取りまとめを行っている。
各部門（プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 企画振興課課長代理 齋藤 雅也 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団における大規模イベント宮ヶ瀬フェスタ、宮ヶ瀬24時間リレーマラソン等の企画・実施に従事、宮ヶ瀬ダム周辺活動団体等とのパイプ役として交流会を取りまとめや、経営戦略会議の広報計画部会の部会長として観光PR等を実施している。
各部門（独自商品の開発・販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 工芸工房村館長 石橋 義廣 （出身組織名） 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団が指定管理者となっている県立あいかわ公園工芸工房村（伝統工芸等体験工房）の責任者として、機織り、紙漉き、染色、陶芸、木竹工などの独自商品開発や体験メニューの開発を行い、体験者数の増加に貢献している。

(別添) 様式 1

各部門（独自商品の開発・販売）の責任者（専門人材）	(氏名) みやがせみや館館長 (兼務) 宮崎 仁男 (出身組織名) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	財団が指定管理者となっているみやがせみや館（総合案内：地域観光情報の一元提供等によるワンストップ施設）の責任者として、宮ヶ瀬湖畔園地に生息する動植物をモデルにした独自の園地グッズ開発や自然体験メニューの開発を行い、体験者数の増加に貢献している。
---------------------------	---	--

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	下記のとおり
----------------------	--------

担当部署名	役割
神奈川県政策局政策部総合政策課	県行政の総合的企画及び調整の視点にたったDMO候補法人登録に向けた助言等
神奈川県政策局政策部土地水資源対策課 (出捐団体、指定管理：宮ヶ瀬やまなみセンター)	県における財団の所管機関として、地域活性化・水源環境理解促進などの総合的な助言等
神奈川県スポーツ局スポーツ課 (指定管理：宮ヶ瀬湖カヌー場)	県立宮ヶ瀬湖カヌー場の所管課として、スポーツ振興の助言等
神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課 (指定管理：宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地)	自然公園関係の所管課として、自然環境保全の総合的な助言等
神奈川県自然環境保全センター (指定管理：宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地)	宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地の管理事務所として自然環境保全の助言等
神奈川県厚木土木事務所 (指定管理：県立あいかわ公園等)	県立あいかわ公園及び厚木市内の都市公園管理事務所として都市公園に関する助言等
神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター	近隣にある県立津久井湖城山公園の管理者として都市公園に関する助言等
神奈川県県央地域県政総合センター (評議員選出)	県央地域における観光振興、総合的な企画などに関する助言等
相模原市環境経済局経済部商業観光課	相模原市に関する観光振興に関する連携事業、助言等
相模原市環境経済局経済部津久井地域経済課 (出捐団体、理事選出)	相模原市における財団の連絡調整窓口として連携事業などに関する助言等
相模原市緑区役所津久井まちづくりセンター	相模原市緑区のうち旧津久井町エリアに関する観光振興に関する助言等
厚木市産業振興部観光振興課 (出捐団体、理事選出)	厚木市に関する観光振興に関する連携事業、助言等
愛川町環境経済部商工観光課 (出捐団体、理事選出)	愛川町に関する観光振興に関する連携事業、助言等
愛川町教育委員会	県立あいかわ公園内歴史学習施設である愛川町郷土資料館との連携事業、助言等
清川村政策推進課 (出捐団体、理事選出)	清川村に関する総合政策、宮ヶ瀬水の郷地域及び湖畔園地活性化に関する連携事業、助言等

(別添) 様式 1

担当部署名	役割
清川村産業観光課	清川村に係る観光振興に関する連携事業、助言等
清川村教育委員会	やまびこマラソン（宮ヶ瀬湖畔園地イベント）など連携事業、助言等
神奈川県内広域水道企業団 （出捐団体、特別地方公共団体、評議員選出）	水源環境理解促進、地域活性化などに関する助言等

※地方公共団体外

国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所	宮ヶ瀬ダム水源地域ビジョンを所管し、宮ヶ瀬ダム周辺における活性化などに関する助言等
---------------------	---

連携する事業者名及び役割	下記のとおり
--------------	--------

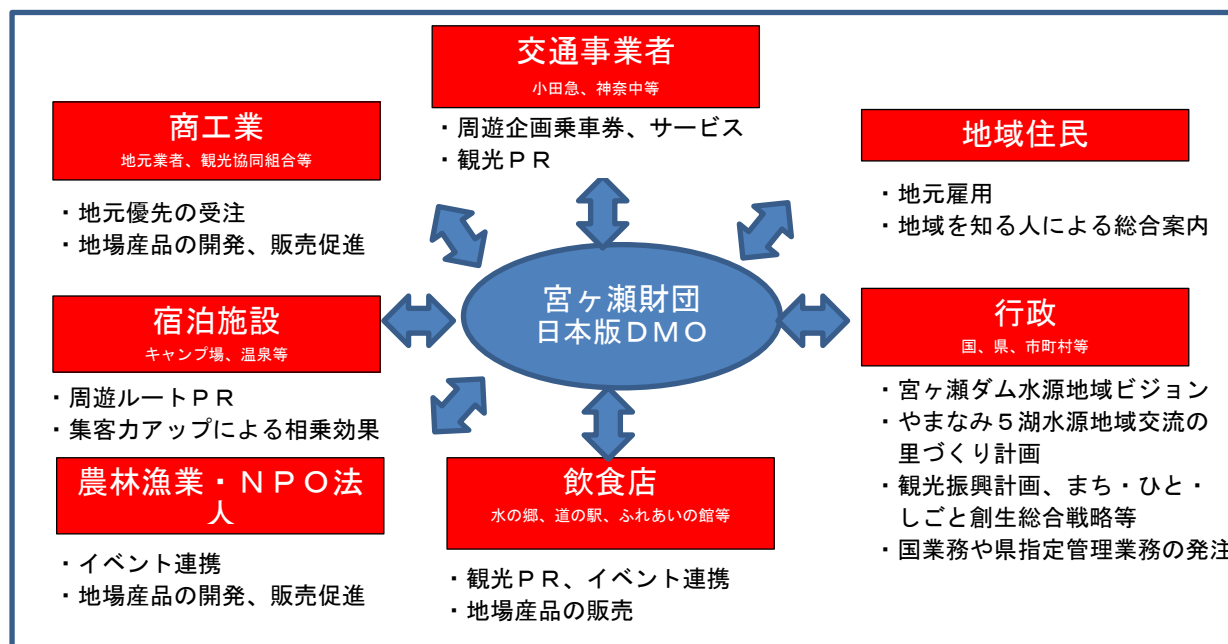
事業者名	役割
スルガ銀行（株） （出捐団体、評議員選出）	水源環境理解促進、地域活性化などに関する助言等
小田急電鉄（株） （出捐団体、評議員選出）	交通アクセス、周遊企画乗車券、サービス連携、観光PR連携
神奈川中央交通（株） （出捐団体、評議員選出）	交通アクセス、周遊企画乗車券、サービス連携（イベント時のバスの増便）、観光PR連携
相模川漁業協同組合連合会 （出捐団体、評議員選出）	水源環境理解促進、地域活性化事業連携
愛川町観光協会	県立あいかわ公園物産販売、観光案内
一般財団法人繊維産業会	工芸工房村と連携した伝統工芸体験
宮ヶ瀬水の郷観光協同組合	観光案内、イベント連携、物産販売、飲食の提供
宮ヶ瀬地区公共施設等管理組合	水の郷駐車場、湖畔園地プロムナード等施設管理、イベント連携
有限会社鳥居原	鳥居原ふれあいの館管理、農産物直売、イベント連携
公益社団法人神奈川県馬術協会	津久井馬術場管理、イベント連携
（一社）厚木市観光協会	観光案内、イベント連携、物産販売
飯山観光協会	飯山地区の観光振興に向けた事業の実施ほか
七沢観光協会	七沢地区の観光・商工業・農林園芸振興に向けた事業の実施ほか

(別添) 様式 1

事業者名	役割
飯山温泉旅館組合	飯山温泉郷の振興に向けた事業の実施
東丹沢七沢旅館組合	東丹沢七沢温泉郷の振興に向けた事業の実施
みどりと清流のふるさと創造委員会	飯山地域の活性化に向けた取組
緑と清流のふるさと七沢委員会	七沢地域の活性化に向けた取組
津久井観光協会	観光案内、写真コンテスト等イベント連携
愛甲商工会	愛川町、清川村に係る観光、産業、特産品などの商工業連携
清川村商工共栄会	清川村煤ヶ谷地区に係る観光、産業、特産品などの商工業連携
道の駅「清川」指定管理者	観光案内、特産品販売等の連携
津久井商工会	旧津久井町に係る観光、産業、特産品などの商工業連携
相模原商工会議所	相模原市における観光、産業、特産品などの商工業連携
厚木商工会議所	厚木市における観光、産業、特産品などの商工業連携
神奈川県カヌー協会	カヌー競技の普及振興連携
NPO 法人 きよかわアウトドアスポーツクラブ	宮ヶ瀬湖等をフィールドにカヌー等のアウトドアスポーツ展開連携
NPO 法人 かながわフィールドスタッフクラブ	自然観察会を通じた自然環境の保護と保全理念の発信・普及連携
NPO 法人 宮ヶ瀬湖ボートクラブ	宮ヶ瀬湖等でのボートを通じ広く生涯スポーツの普及・定着と振興連携
東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース実行委員会	宮ヶ瀬湖を望む丹沢山系東部山域を舞台したトレイルレース連携
神奈川県立愛川ふれあいの村	宮ヶ瀬湖周辺における自然体験、野外活動、スポーツ、宿泊連携
公益財団法人神奈川県公園協会	丹沢大山の自然や観光案内等の連携(ビジターセンターや近隣都市公園の指定管理者)
株式会社農協観光	財団と連携した観光ツアーの企画
清川おやじの会	遊びを通じて子ども達と一緒に地域教育の実践連携

(別添) 様式 1

事業者名	役割
愛川町山岳会	山岳スポーツ・イベント協力
サークル愛川自然観察会	自然観察等イベント協力
株式会社ボーネルンド	みやがせミーヤ館の子供の遊具監修、イベント協力
相鉄ホールディングス株式会社 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
株式会社横浜銀行 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
株式会社サカタのタネ (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
前澤工業株式会社 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
一般財団法人ダム技術センター (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
一般財団法人水源地環境センター (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
一般社団法人関東地域づくり協会 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力
神奈川県農業協同組合中央会 (出捐団体)	出捐等を通じた事業協力



官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み

(該当する要件) ①～④まで該当

- ① 取締役、理事など日本版DMOの意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画すること
(概要) 財団の理事、評議員は、関係市町村長、市町村議会議長、交通・金融・漁業関係者、学識経験者、弁護士等から構成され、定期的に理事会、評議員会を開催
- ② 日本版DMOの組織内に行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること
(概要) 宮ヶ瀬地湖周辺地域活性化推進懇談会の下部組織である宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議で、担当者の情報交換や活性化策の検討等
- ③ 日本版DMOが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される協議会等をDMOとは別に設置すること
(概要) 国の宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン推進協議会、県の水源地域交流の里づくり推進協議会、県央地区推進協議会(宮ヶ瀬湖エリア)に財団は構成員として事業計画等に関与
・宮ヶ瀬湖周辺地域で活動する団体の代表等の交流、連携強化のため活動団体等交流会を開催
- ④ その他、関係者の合意形成が有効に行われる仕組みが存在すること
(概要)
・近隣市町村の首長、愛甲郡選出県議会議員、相模川水系広域ダム管理事務所長、県央地域県政総合センター所長等を構成員とする宮ヶ瀬地湖周辺地域活性化推進懇談会開催
・国受託、県指定管理等に伴い定期的な打ち合わせ等を関係機関と定期的実施

公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

出損者 【行政6】神奈川県、愛川町、清川村、相模原市、厚木市
神奈川県内広域水道企業団
【民間7】小田急電鉄(株)、神奈川中央交通(株)、相鉄ホールディングス(株)
(株)横浜銀行、(株)サカタのタネ、スルガ銀行(株)
前澤工業(株)
【団体5】(一財)ダム技術センター、(一財)水源地環境センター
(一財)関東地域づくり協会、神奈川県農業協同組合中央会
相模川漁業協同組合連合会

	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評議員会 評議員 10名 市町村議会議長（相模原市、厚木市、愛川町、清川村） 神奈川県県央地域県政総合センター所長 神奈川県内広域水道企業団副企業長、スルガ銀行(株)厚木支店長 小田急電鉄(株)開発推進部長、神奈川中央交通(株)常務取締役 相模川漁業協同組合連合会代表理事会長</p> <p>理事会 理事 8名 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団理事長、常務理事 愛川町長、清川村長、相模原市副市長、厚木市副市長 学識経験者（元神奈川工科大学客員教授）、弁護士</p> <p>監事 2名 清川村副村長、税理士</p> <hr/> <p>宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進懇談会 9名 愛川町長、清川村長、相模原市副市長、厚木市副市長、愛甲郡選出神奈川県議会議員、相模川水系広域ダム管理事務所長、県央地域県政総合センター所長、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団理事長、常務理事、</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議 16機関 国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所 神奈川県土地水資源対策課、総合政策課、スポーツ課、自然環境保全課、 県央地域県政総合センター、自然環境保全センター、厚木土木事務所、 相模原市商業観光課、津久井地域経済課、津久井まちづくりセンター、 厚木市観光振興課、愛川町商工観光課、清川村産業観光課、政策推進課、 事務局宮ヶ瀬ダム周辺振興財団</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺活動団体等交流会 H25年度 第1回 29団体、51人参加 H26年度 第2回 36団体、71人参加 H27年度 第3回 50団体、81人参加 H28年度 第4回 58団体、101人参加</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>財団は構成員として事業計画等の策定に関与</p> </div>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、地域住民を含んだ宮ヶ瀬湖周辺活動団体の情報交換、連携強化を目的として交流会を開催し、日本版DMOの取組などを紹介し、横連携を強化 ・平成29年度は、これとは別に、日本版DMO候補法人登録を記念したシンポジウムを開催（10月22日）し、今後の日本版DMOの推進に向けた関係者と連携・協調を図る取組を実施

法人のこれまでの活動実績

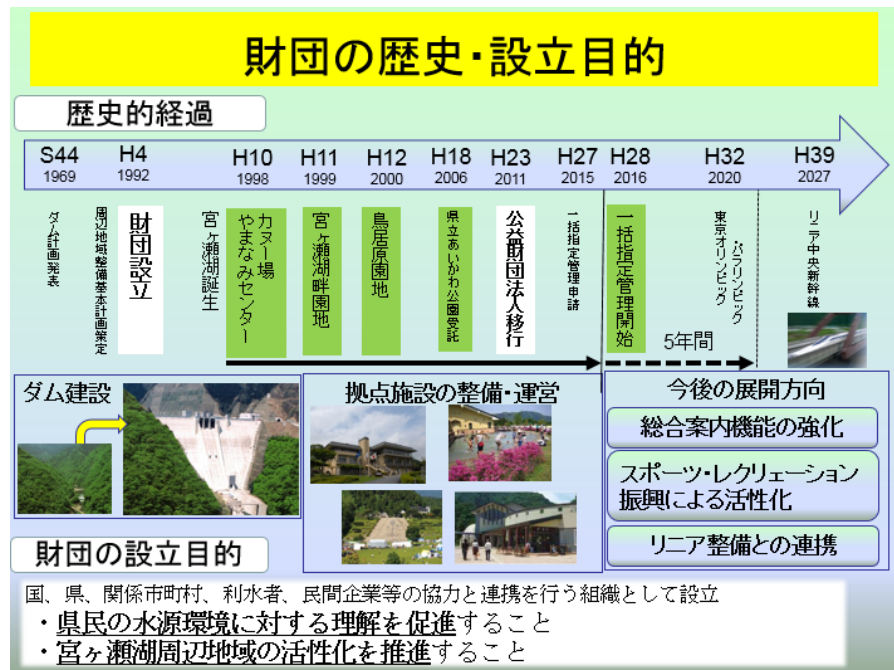
(活動の概要)

○ 財団設立の趣旨

宮ヶ瀬ダム貯水池及び周辺地域をダム空間の特性を生かした自然の保護と開発の調和のとれた都市近郊リゾート地として形成していくため、貯水池周辺地域の環境保全及び整備に関する企画立案及び合意形成の促進、拠点施設の整備・管理等を行い、もって都市と貯水池周辺地域及び人と自然の交流・共存による水源地域の保全と振興に寄与することを目的として当財団を設立した。

○ 沿革

- 平成 4 年 10 月 1 日 出資者は、地方自治体 6 団体及び民間 10 団体、基本財産 15 億円をもって、財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団を厚木市恩名 102 番地の 2 に設立した。
- 平成 6 年 3 月 29 日 出資者を、民間 2 団体増加するとともに、基本財産 2,000 万円を増額した。出資者は、18 団体、基本財産は 15 億 2,000 万円となった。
- 平成 10 年 9 月 1 日 事務所を愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-4 番地に移転した。
- 平成 23 年 9 月 21 日 公益財団法人への移行について、神奈川県知事の認定を受けた。
- 平成 23 年 10 月 3 日 移行登記が完了し、公益財団法人に移行した。



○ 事業活動の概況

会計として公益目的事業会計・収益事業等会計及び法人会計に区分して事業を実施

・ 公益目的事業

豊かな自然や宮ヶ瀬湖周辺地域の特性等を生かしながら、地域の活力を引き出し、魅力ある地域づくりを進めるため、県民の水源環境に対する理解を促進し、宮ヶ瀬湖周辺の活性化の推進を行うことにより、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図る

水源環境の理解促進(財団)

取組の内容

項目	内容
自然体験教室	植物、動物・昆虫、水源等にふれる自然体験
カヌーと自然観察	本湖でのカヌー体験と自然観察のコラボ
都市での広報活動	宮ヶ瀬の象徴「もみの木」を展示、相互メッセージ
企業・学校等の環境活動誘致	企業、学校の社会的貢献として植樹など環境活動誘致
ダム見学者へのレクチャー	小学校の社会見学や一般の来訪者への説明・案内
宮ヶ瀬湖憲章の普及啓発	ノベルティグッズの配布等による憲章の普及啓発



自然体験教室



Eボートによる自然観察とのコラボイベント



NHK横浜での「もみの木」の展示

地域活性化の推進(財団)

取組の内容

項目	内容
大規模事業(3拠点イベント)	季節ごとに開催、地場産品の紹介、地域団体の発表
小規模事業	郷土・伝統工芸等の地域資源を活用した体験イベント
伝統工芸の体験	工芸工房村での陶芸、木竹工、染色等の体験
遊具、アスレチック体験	ふわふわドーム、冒険の森などでの遊び体験
スポーツイベント	カヌースクール、24時間リレーマラソン
団体交流事業	宮ヶ瀬湖周辺地域で活動する団体の交流会
調査研究、写真コンテスト	来訪者の動向調査、写真コンテスト・カレンダー作成



みやがせフェスタ春の陣



よもぎ団子作り



24時間リレーマラソン

・収益事業等

財団経営基盤の強化及び公益活動を充実するため、宮ヶ瀬湖周辺有料施設運営事業として、湖畔地区等有料施設の運営、あいかわ公園有料施設の運営及び有料乗物の運営等を行う。

乗物運行(財団)

取組の内容

項目	内容
湖畔ロードトレイン(ミーヤ号)	宮ヶ瀬湖畔園地で運行、クリスマス期間ナイト運行
ダムサイトロードトレイン(愛ちゃん号)	あいかわ公園パークセンター～ダム下の運行
インクライン	ダム建設時の施設を活用し、ダム堤体部の昇降
遊覧船みやがせ21	3拠点を結ぶ湖上遊覧船の運航
シャトルバス	繁忙期に3拠点を巡回する無料バスの運行



ダムサイトロードトレイン(愛ちゃん号)



インクライン



遊覧船みやがせ21

・法人運営事業

財団運営に関し、重要な事項を議決するため、理事会・評議員会を開催し、宮ヶ瀬湖周辺地域の環境保全、施設の活用及び地域活性化の推進を図るため、企画・計画及び調整を行う。

(定量的な評価)

○宮ヶ瀬湖周辺3拠点における施設利用者数の推移

(人)

区 分	宮ヶ瀬湖畔地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	合 計
H18 年度	938,298	699,247	174,460	1,812,005
H19 年度	960,823	837,854	177,634	1,976,311
H20 年度	924,525	784,233	167,299	1,876,057
H21 年度	913,573	855,415	168,642	1,937,630
H22 年度	848,989	743,914	153,330	1,746,233
H23 年度	818,738	803,901	142,265	1,764,904
H24 年度	719,787	759,197	134,390	1,613,374
H25 年度	705,342	763,954	131,472	1,600,768
H26 年度	629,834	747,744	129,572	1,507,150
H27 年度	695,986	758,874	135,676	1,590,536
H28 年度	635,278	772,562	142,857	1,550,697



○ 主なイベント参加者の推移

(人)

区 分	3 拠点 イベント※1	24 時間 リレーマラソン※2	その他 イベント※3	実行委員会 イベント※4
H23 年度	33,900	2,239	70,107	274,500
H24 年度	26,580	2,050	77,096	283,000
H25 年度	39,648	3,000	84,954	305,000
H26 年度	45,235	8,000	72,196	225,000
H27 年度	43,138	10,500	69,964	242,000
H28 年度	21,062	7,200	103,160	225,000

※1 財団主催 3 拠点大規模イベント 宮ヶ瀬フェスタ

※2 財団主催 宮ヶ瀬湖 24 時間リレーマラソン

※3 財団主催 自然観察、伝統工芸体験、カヌー教室等

(別添) 様式 1

※4 実行委員会参画 あいかわ公園つつじまつり
宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい等

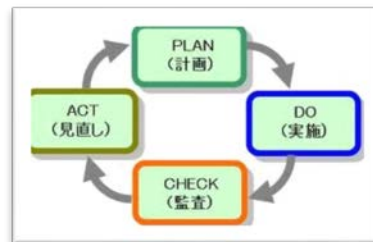
○ 財団収益事業のうち、乗物関係の利用者推移 (人)

区 分	湖畔ロードトレイン	ダムサイトロードトレイン	インクライン	遊覧船
H23 年度	62,825	96,857	96,485	26,438
H24 年度	51,898	87,538	86,965	20,288
H25 年度	47,153	81,525	87,079	22,593
H26 年度	46,497	79,928	75,271	26,990
H27 年度	52,775	85,958	89,387	29,101
H28 年度	44,768	88,698	98,737	20,075

<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要) 公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の経営戦略会議を中心に、日本版DMOの機能を担う。 事業を推進するにあたっては、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 関係行政機関、団体等で構成される評議員会、理事会 ② 宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進懇談会、宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議 ③ 宮ヶ瀬湖周辺活動団体等交流会等を活用し、行政、旅行者、観光組合、飲食業者、大学、スポーツ団体、交通事業者、農業・漁業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施する。 <p>(実施体制図)</p> <p>〔経営戦略会議〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的 財団をとりまく社会経済情勢、周辺環境、経営環境が大きく変化する中で、財団の目的及び時代要請に照らして実施事業を見直し、再構築し、経営改善を図るための会議 ・ 構成員 理事長（座長）、常務理事兼事務局長、各課長、所長、館長 企画振興課課長補佐 ・ 設置 平成 25 年 4 月 1 日 業務実績と計画目標数値（目標、前年度、過去 5 年）の相違、要因分析を実施（毎月）
--------------------	--

・部会

課題事項を協議するための職員参加による意欲向上をねらいとして、部会を設置し検討・改善を実施



〔事務局職員〕

平成 29 年 4 月 1 日現在

職 名	氏 名	構 成 職 員 数				摘 要
		常勤	非常勤	日々雇用	計	
事務局長	宮崎仁男	1			1	常務理事兼事務局長兼ミヤ館館長
総務経営課長	志村政浩	4	1	1	6	課長は神奈川県から派遣
企画振興課長	加藤時三	4	1	1	6	職員 1 名は清川村から派遣
施設課長	菅野泰彦	4			4	職員 1 名は愛川町から派遣
計		13	2	2	17	

〔所管機関等施設配置職員〕

施 設 名	構 成 職 員 数				摘 要
	常勤	非常勤	日々雇用	計	
みやがせミヤ館	1	3	3	7	
宮ヶ瀬湖カヌー場		1	2	3	
宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館		3	8	11	
インクライン			6	6	
園地管理			10	10	
堤体周辺管理			4	4	
湖岸・湖面巡視			4	4	
ロードトレイン			9	9	
遊覧船			3	3	
県立あいかわ公園	1	2	23	26	
工芸工房村		4	10	14	
ダム入出場管理			8	8	
計	2	13	90	105	

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

- (全域) 愛川町、清川村
- (一部地域) 相模原市 (緑区根小屋、長竹、青山、鳥屋)
- 厚木市 (飯山、七沢)

宮ヶ瀬湖周辺地域の厳格エリア区分定義は存在しないが、

- ・宮ヶ瀬湖は、清川村、愛川町、相模原市にまたがっており、宮ヶ瀬湖畔エリア (清川村)、鳥居原エリア (相模原市)、あいかわ公園・ダムサイトエリア (愛川町、相模原市) の3拠点が整備されていること。
- ・宮ヶ瀬湖への公共交通機関の主なアクセス起点が相模原市 (JR橋本駅)、厚木市 (小田急本厚木駅) であること。
- ・宮ヶ瀬湖への広域圏からの車での主なアクセス起点が、東名高速道路は、厚木インターチェンジ、圏央道は相模原インターチェンジであること。
- ・観光宿泊施設として、厚木市にある飯山・七沢温泉が宮ヶ瀬湖アクセス上にあること。
- ・相模川以西で、行政、歴史的にも厚木市、愛川町、清川村のつながりが強く、厚木市観光振興計画では、近隣自治体と連携した広域観光ルートづくりを挙げていること。
- ・平成4年10月1日の財団設立時に出資者した市町村は、愛川町、清川村、相模原市 (旧津久井町)、厚木市であること。等

顧客視点に立ち、旅行商品の開発、周遊ルートの企画など連携した取組や、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切と考える。

【観光客の実態等】

○再掲: 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団集計

宮ヶ瀬湖周辺3拠点における施設利用者数の推移 (人)

区 分	宮ヶ瀬湖畔地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	合 計
H18年度	938,298	699,247	174,460	1,812,005
H19年度	960,823	837,854	177,634	1,976,311
H20年度	924,525	784,233	167,299	1,876,057
H21年度	913,573	855,415	168,642	1,937,630
H22年度	848,989	743,914	153,330	1,746,233
H23年度	818,738	803,901	142,265	1,764,904
H24年度	719,787	759,197	134,390	1,613,374
H25年度	705,342	763,954	131,472	1,600,768
H26年度	629,834	747,744	129,572	1,507,150
H27年度	695,986	758,874	135,676	1,590,536
H28年度	635,278	772,562	142,857	1,550,697

○平成 21 年度 河川水辺の国勢調査

(河川空間利用実態調査・ダム湖利用実態調査) より抜粋 国土交通省実施

1.5 ダム湖利用者数の多いダムとその特徴

■ ダム湖利用者総数の第一位は『宮ヶ瀬ダム』 ■

平成 21 年度年間利用者数の推計結果^(注)によると、年間利用者数の最も多いダムは宮ヶ瀬ダム(関東)であり、約 133 万人の利用があった。ベスト 10 のダムを地方別に見ると、東北 5 ダム、関東 1 ダム、近畿 3 ダム、四国 1 ダムとなっている。

各ダム湖及びその周辺の特徴をみると、宮ヶ瀬ダムでは及沢園地や県立あいかわ公園、御所ダムでは繋温泉や手づくり村など、大都市の近郊に位置するもの、周辺に有名観光地があるもの、ダム湖周辺のスポーツ・レクリエーション施設が充実しているものが多い。

○ 神奈川県入込観光客調査より抜粋 神奈川県ホームページ

(平成 27 年)

(単位: 千人・千円)

市町村名	入込観光客数			観光客消費額			
	延観光客数	宿泊客数	日帰り客数	観光客消費額計	観光客宿泊費	飲食費	その他消費額
相模原市	13,767	647	13,120	18,601,508	2,813,318	10,750,612	5,037,578
厚木市	3,387	342	3,045	15,554,206	2,733,864	6,886,088	5,934,254
愛川町	1,276	77	1,199	903,151	659,906	185,459	57,786
清川村	1,851	9	1,843	105,776	24,624	23,691	57,461

(別添) 様式 1

(平成 26 年)

(単位：千人・千円)

市町村名	入込観光客数			観光客消費額			
	延観光客数	宿泊客数	日帰り客数	観光客消費額計	観光客宿泊費	飲食費	その他消費額
相模原市	11,019	635	10,384	13,385,732	2,561,693	8,988,278	1,835,761
厚木市	3,119	337	2,782	15,249,012	2,578,260	6,749,648	5,921,104
愛川町	1,259	76	1,182	893,402	653,021	183,276	57,105
清川村	1,464	7	1,457	124,467	22,282	23,927	78,258

主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事別観光客数

(平成 27 年)

(単位：千人)

市町村	名称	調査区分	観光客数
相模原市	宮ヶ瀬湖（鳥居原）	地点	417
厚木市	飯山	地点	454
	七沢	地点	411
愛川町	宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館	施設	151
	愛川町立郷土資料館	施設	52
	工芸工房村	施設	86
	県立あいかわ公園	地点	432
	あいかわ公園つつじまつり	行事	26
	半原糸の里文化祭・宮ヶ瀬フェスタ夏の陣	行事	26
清川村	県立宮ヶ瀬やまなみセンター	施設	199
	宮ヶ瀬水の郷交流館	施設	26
	県立宮ヶ瀬ビジターセンター	施設	83
	宮ヶ瀬桜まつり	行事	15
	宮ヶ瀬	地点	1,104
	宮ヶ瀬ふるさとまつり	行事	15
	清川やまびこマラソン	行事	1
	宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい	行事	216

(平成 26 年)

(単位：千人)

市町村	名称	調査区分	観光客数
相模原市	宮ヶ瀬湖（鳥居原）	地点	363
厚木市	飯山	地点	468
	七沢	地点	345
愛川町	宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館	施設	158
	愛川町立郷土資料館	施設	50
	工芸工房村	施設	76
	県立あいかわ公園	地点	416
	あいかわ公園つつじまつり	行事	25
	半原糸の里文化祭・宮ヶ瀬フェスタ夏の陣	行事	25
清川村	県立宮ヶ瀬やまなみセンター	施設	163
	宮ヶ瀬水の郷交流館	施設	29
	県立宮ヶ瀬ビジターセンター	施設	77
	宮ヶ瀬桜まつり	行事	20
	宮ヶ瀬	地点	903
	宮ヶ瀬ふるさとまつり	行事	15
	清川やまびこマラソン	行事	1
	宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい	行事	200

○ホームページアクセス数（アクセスログ解析結果）

(平成 28 年度) セッション数 333,557 件、ユーザ数 225,960 人、ページビュー数 1,385,479 件

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

ア 宮ヶ瀬湖畔エリア

観光資源	区分	内容
県立宮ヶ瀬やまなみセンター (財団運営管理)	観光	水源地域の活性化拠点、各種イベント開催、休憩所
みやがせミーヤ館 (財団運営管理)	観光	総合案内、クラフト体験、自転車の駅、森のキッズルーム、自然観察
宮ヶ瀬湖カヌー場 (財団運営管理)	スポーツ	カヌー艇庫、管理棟でカヌー競技、Eボートによる自然観察など実施
天体ドーム (財団運営管理)	観光	宮ヶ瀬の澄んだ空気の下で本格的な天体観測が可能
清川村宮ヶ瀬湖水の郷交流館 (清川村)	歴史文化	宮ヶ瀬の歴史資料や宮ヶ瀬の人が使っていた古民具等の展示、紹介
親水池・カヌーロッジ (財団運営管理)	自然 スポーツ	カヌー庫、更衣室等の設備と、夏、秋にはカヌースクールを開催
野外音楽堂 (財団運営管理)	文化	ステージ、音響、控室、芝生スタンドがあり野外コンサート開催可能
ピクニック広場バーベキュー場 (財団が宮ヶ瀬水の郷観光協同組合に運営委託)	商業	林の中の 20 区画のバーベキューエリアで器具や食材の提供
けやき広場 (財団運営管理)	観光 自然	2.5ha の芝生広場で散策やイベントなどが可能
こどもひろば (財団運営管理)	観光 遊具	アスレチック広場(ターザンロープ、サスケジャンプ、あみだ越え)(無料)
小中沢園地多目的広場 (財団運営管理)	観光 スポーツ	平成 28 年度にグランドゴルフ等が可能なニュースポーツゾーンとして整備
及沢ビオトープ (財団運営管理)	自然	生態系に適した自然環境を確保し、自然観察会などを実施
八つ橋 (財団運営管理)	観光 自然	親水池に隣接した水辺の自然観察場として木製の歩道
もみの木(クリスマスツリー) (財団運営管理)	自然 イベント	高さ約 30m の自生のもみの木で、クリスマスイルミネーションに利用

(別添) 様式 1

観光資源	区分	内容
水の郷 大噴水「虹の妖精」 (清川村)	観光 イベント	親水池に設置された 30m 上がる噴水人工的に虹を発生、ライトアップ
水の郷大つり橋 (清川村)	観光 イベント	橋長 315m、歩行者専用のつり橋、クリスマス期間中はライトアップ
じゃぶじゃぶ池 (財団運営管理)	観光 自然	ピクニック広場前の小川を整備した水辺の遊び空間
みはらしの丘 (財団運営管理)	自然	宮ヶ瀬虹の大橋を中心に広大な景観を楽しむ場所
展望の丘 (財団運営管理)	自然	宮ヶ瀬湖畔園地を見渡すことができる場所
水の郷商店街	商業	食事から土産まで豊富な種類でもてなし可能 13 店舗
水の郷商店街 プロムナード (清川村)	観光 遊具	イベントステージ、小川、子供用遊具などを設置、散策、休憩
ロードトレイン「ミーヤ号」 (財団運営管理)	観光	園内一周 3.2km する 4 両連結型の観光乗物 定員 81 名、エリア内各施設へアクセス
遊覧船「みやがせ 2 1」 (財団運営管理)	観光	3 エリアを結ぶシャトル船で宮ヶ瀬湖の景観・自然環境を水面から遊覧
シャトルバス (財団運営管理)	観光	来客者の利便性の向上ため、宮ヶ瀬湖 3 拠点の移動のための無料バスを特定期間運行
みやがせ花の日 (財団主催)	イベント	毎月第 3 土曜日に来訪された方に花苗をプレゼント
みやがせフェスタ 春 (メイン会場) (財団主催)	イベント	宮ヶ瀬桜まつりの期間に、野外音楽堂においてステージイベント等を実施
東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース (実行委員会)	イベント	宮ヶ瀬湖を望む丹沢山系東部山域を舞台したトレイルレース
みやがせフェスタ夏ペットボトルロケット大会 (サブイベント) (財団主催)	イベント	夏の体験イベントとして、ペットボトルロケットを制作し広い園地内で飛距離を競う
宮ヶ瀬ふるさとまつり (実行委員会)	イベント	夏休みに湖畔園地を使用し、約 2,000 発の打ち上げ花火を実施
宮ヶ瀬湖 24 時間リレーマラソン (財団主催)	イベント	夏休みの土日に宮ヶ瀬湖畔園地の 1.8km 周遊路をチームリレーするスポーツイベント
宮ヶ瀬湖カヌースクール (財団主催)	イベント	カヌー初心者等を対象に親水池で夏と秋に開催されるカヌースクール
宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい (実行委員会)	イベント	高さ 30m のジャンボクリスマスツリーを中心にした約 60 万個のイルミネーション
自然観察、生き物観察 (財団主催)	イベント	四季を通じて、貴重な自然が残る及沢ビオトープなどで自然観察会等を開催
各種体験教室等 (財団主催)	イベント	クラフト体験、森遊び、バレンタインのお菓子作り、E ボートなどの体験教室を開催
みやがせミーヤくとあいちゃん (財団)	イベント	宮ヶ瀬のマスコットキャラクターとして、各種イベントに出演

(別添) 様式 1

イ 鳥居原エリア

観光資源	区分	内容
鳥居原ふれあいの館 (相模原市)	商業 イベント	四季折々の産地直送野菜や物産を販売、しいたけ教室などのイベント開催
津久井馬術場 (神奈川県馬術協会運営管理)	スポーツ	馬術競技会や学生の馬術練習合宿等に使用されているスポーツ施設
岬の展望台 (財団運営管理)	自然 観光	宮ヶ瀬虹の大橋などが一望でき、宮ヶ瀬の四季折々の景観が楽しめる
湖畔庭園 (財団運営管理)	自然 観光	噴水や花壇、芝生広場があり、来訪者が鐘を鳴らせる公園
花時計 (財団運営管理)	自然 観光	直径 5.3m、長針 2m の花時計、ソーラを利用し時刻を知らせる
ドウダンツツジ (財団運営管理)	自然 観光	約 2 万株のドウダンツツジを斜面に配置し、春は白い花、秋は紅葉を楽しむ
宮ヶ瀬虹の大橋	観光	鳥居原エリアと湖畔エリアをつなぐ橋長 300m の逆ローゼ橋で、抜群の眺望
各種体験教室 (財団主催ほか)	イベント	ヨモギ団子、うどん、しいたけ教室、まきわりなどの体験教室を開催
フリーマーケットほか (鳥居原ふれあいの館)	イベント	毎月第 3 日曜日にフリーマーケット、そのほか第 1 日曜日に青空クラフト市等開催
みやがせフェスタ 秋 (メイン会場) (財団主催)	イベント	秋の収穫時期にあわせ、ステージイベントや収穫体験等を実施

ウ ダムサイト・あいかわ公園エリア

観光資源	区分	内容
宮ヶ瀬ダム	観光	都心から約 50km 圏内に位置した首都圏最大級のダム 堤高 156m、堤頂長 375m
宮ヶ瀬ダム貯水池 宮ヶ瀬湖	自然 観光	湛水面積 4.6k m ² (東京ドーム約 100 個分) 総貯水容量約 2 億 m ³ (芦ノ湖の水量)
相模川水系広域ダム管理事務所	観光	1 階に展望ギャラリー、ダム概要パンフレット、パネル展示
副ダム (石小屋ダム)	観光	宮ヶ瀬ダムの副ダム 約 800m 下流 堤高 34.5m、堤頂長 87m
展望塔	観光	ダム堤体頂上に設置された展望台、空気が澄んでいると横浜ランドマークタワーが見える
ダム堤体内エレベーター	観光	ダム堤体内設置されたエレベーターで、ダム体験学習として自由に利用可能
インクライン (財団運営管理)	観光	ダム建設時の施設を活用したケーブルカー 最大斜度 35 度、ダムの堤体横を上下移動
宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館 (財団運営管理)	観光 学習	ダムに関する体験型アミューズメント施設 レクチャー体験でダム学習可能
レイクサイドカフェ (財団が運営委託)	商業	水とエネルギー館内にあるレストラン、ダムカレーなどをメニューとして用意

(別添) 様式 1

観光資源	区分	内容
大沢の滝	観光	新石小屋橋から見ることのできる落差 40m の滝
ダム内部見学会	イベント	森と湖に親しむ旬間 (7月下旬) 期間内にダム内部見学会が開催
観光放流	イベント	全国でも珍しい定期的な観光放流の実施 4月～11月 毎週水、毎月第二日曜、金曜
ダムカード配布	イベント	宮ヶ瀬ダムカード、石小屋ダムカードをダム管理事務所と水エネ館で配布
あいかわ公園パークセンター (財団運営管理)	観光 商業	公園内や宮ヶ瀬湖周辺の総合案内施設 売店、授乳室などを設置
工芸工房村 (財団運営管理)	観光 イベント	地元愛川町の伝統工芸 (機織り、紙漉き、染色、陶芸、木竹工など) 体験施設
ロードトレイン「愛ちゃん号」 (財団運営管理)	観光	パークセンターとダム下のシャトル便として 4両連結型の観光乗物、定員 55 名
工芸工房村レストラン (財団が愛川山菜園に運営委託)	商業	工芸工房村に隣接するレストラン
愛川町郷土資料館 (愛川町)	歴史文化	愛川町の歴史・民俗・考古・自然科学に関する資料収集、保存、展示施設
ふれあい橋・エレベーター (財団運営管理)	観光	あいかわ公園の広場から工芸工房村・愛川町郷土資料館を結ぶ施設、園内展望
あいかわ公園 中央広場 (財団運営管理)	観光	あいかわ公園に入って最初の広場、噴水があり、子供の遊び場となっている
冒険広場 (財団運営管理)	観光	すり鉢状になった広場で、斜面で段ボール滑りなども可能
自然観察林 (遊歩道) (財団運営管理)	自然 観光	樹木に覆われた遊歩道で、遊歩道の先には新宿副都心が見える南山につながっている
花の森 (財団運営管理)	自然 観光	小高い丘で木々が付ける花などの景観を楽しむ
風の丘 (財団運営管理)	自然 観光	公園の上部に広がる眺めの良い丘、巨大なダム堤体、横浜ランドマークターも見える
花の斜面 (財団運営管理)	自然 観光	40 種類のツツジ (愛川町の町花) を植栽、園内全体では約 4 万 4 千本のツツジ
ふれあい広場 (財団運営管理)	自然 観光	ピクニックや休憩に利用、大規模イベント時にはイベント広場として利用
じゃぶじゃぶ池 (財団運営管理)	観光	パークセンターに隣接する池で、夏場は子供の水遊び場
子供広場・ふわふわドーム (財団運営管理)	観光 遊具	空気でふくらませた大きなトランポリン遊具 (無料)、二つ山 (大)、一つ山 (小)
冒険の森 (財団運営管理)	観光 遊具	壁の迷路、巨大ツリー、スライダー、ターザンライド、林間アスレチック遊具 (無料)
あいかわ公園花の日 (財団主催)	イベント	毎月第 3 日曜日に来訪された方に花苗をプレゼント
革工芸教室 (財団主催)	イベント	毎月第 3 土曜日にパークセンターで開催

(別添) 様式 1

観光資源	区分	内容
ミニ牧場 (財団主催)	イベント	毎月第1日曜日にアヒル、ウサギ、モルモットなどの動物とのふれあい体験を開催
楽しいお話会 (財団主催)	イベント	毎月第1土曜日に愛川町の地域ボランティアによる絵本や紙芝居の読み聞かせを開催
新鮮朝市 (財団主催)	イベント 商業	毎月第2、第4日曜日に生産者グループによる地場野菜、果物、苗等の販売
和紙で遊ぼう (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月第1日曜日に伝統工芸体験
陶芸教室 (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月の定期開催と季節ごとの陶芸体験イベント開催
木竹工体験 (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月、園内の間伐材を利用した工作体験
染色体験 (財団主催)	イベント	工芸工房村で毎月、手ぬぐい染めなど伝統工芸体験
あいかわ公園つつじまつり (実行委員会)	イベント	40種、4万本を越えるつつじが満開の会場でステージショー、地元生産品販売
みやがせフェスタ 夏 (メイン会場) (財団主催)	イベント	ステージイベントや地元物産展等を実施、半原系の里文化祭も同時開催
半原系の里文化祭 (実行委員会)	イベント	藍染、機織り、紙漉きなど各種体験教室、郷土芸能披露、ステージイベントなど
自然観察会、各種体験教室 (財団主催)	イベント	自然観察会やアウトドアヨガ、ハイキングなど体験イベントを開催

エ 近隣の観光施設等

観光資源	区分	内容
道の駅清川 (清川村)	観光 商業	県内3番目の道の駅として農産物や地場産品などの販売、休憩施設
清川村ふれあいセンター「別所の湯」 (清川村)	商業	丹沢の源流を水源とする入浴施設
清川やまびこマラソン (実行委員会) (清川村)	イベント	11月上旬に宮ヶ瀬湖周辺で行うマラソン大会 (ハーフ、5km、3km)
青龍祭 (実行委員会) (清川村)	イベント	江戸時代から昭和初期にかけて、煤ヶ谷地区で行われていた「雨乞い」儀式を復活し、雄・雌2頭の龍を作成し、村内を練り歩いた後に昇天させるお祭り (8月中旬実施)
愛川太陽光発電所 (愛称: 愛川ソーラーパーク) (愛川町)	観光	ダム近くにある最大出力1,896kW(約8,000枚)の神奈川県営初のメガソーラー
中津川マス釣り場 (愛川町)	観光 商業	ダムの下流にある自然溪流タイプの釣り場 (漁協直営)
愛川繊維会館レインボープラザ (愛川町)	観光	手織り体験、藍染め・草木染め体験、紙漉き体験、組み紐体験
田代運動公園 (愛川町)	スポーツ	野球場、ソフトボール場、テニスコート、ゲートボール場、プール

(別添) 様式 1

観光資源	区分	内容
塩川滝 (愛川町)	自然	滝幅 4 m、落差約 30m。雨乞いの霊験あらたかな滝で、八菅修験の第 5 番の行所
服部牧場 (愛川町)	観光 商業	ダム近くの神奈川県下随一の広さと規模の観光牧場、散策、アイスcream、ソーセージ等販売
仏果山・高取山・経ヶ岳登山コース (愛川町・清川村)	観光 自然	宮ヶ瀬湖や丹沢山地を眺めながら季節を問わず山歩きが楽しめ、天気の良い日は都心や横浜の風景もみることができる
株式会社オギノパン (相模原市緑区)	観光 商業	ダム近くにある工場併設(見学可)パン屋、神奈川県フードバトル金賞のアゲパン等
早戸川国際マス釣場 (相模原市緑区)	観光 商業	宮ヶ瀬湖の流入河川である早戸川にある釣り場
宮ヶ瀬ココロパーク (相模原市緑区)	商業	宮ヶ瀬湖近くにあるたまご拾い公園
県立津久井湖城山公園 (相模原市緑区)	観光	城山ダムの両岸の 2 つの公園と、戦国時代の「津久井城跡」を利用した公園。噴水やガーデンテラス、スロープ状園路などが整備
南山 (相模原市緑区)	観光	標高 544m、県 100 名山。40 分程度で展望台権現平、トイレ、東屋、ベンチ、湖周辺が一望
松茸山 (相模原市緑区)	観光	自然の森公園として整備された山。コナラ、モミ等の自然林、山頂まで 1 時間の手軽なハイキングコース
鳥屋の福寿草 (相模原市緑区)	観光 自然	鳥屋地区(宮の前)の私有地にある福寿草の群生地
鳥屋の獅子舞 (相模原市緑区)	イベント	県指定無形民俗文化財に指定された祭りで、毎年 8 月の第 2 土曜日に開催
飯山温泉郷・東丹沢七沢温泉郷 (厚木市)	観光	都心から約 1 時間の本格的な温泉。泉質は強アルカリ性が強く、美肌の湯として知られている
県立飯山白山森林公園 (厚木市)	観光	飯山観音の裏山約 33 ヘクタールを整備した自然公園。春の桜を始め、四季の風景が楽しめる
県立七沢森林公園 (厚木市)	観光	横浜スタジアムの 24 倍以上もの面積で、64.6 ヘクタールの園内には野外ステージや森の民話館などの施設
飯山方面ハイキングコース (厚木市)	観光	白山順礼峠コース、猪久保コース、白山コース
七沢方面ハイキングコース (厚木市)	観光	鐘ヶ嶽コース、二の足林道コース、三峰山コース、見城コース、日向薬師コース
森林セラピー [®] セラピーロード (厚木市)	観光	厚木市の七沢周辺は全国 62 箇所ある森林セラピー基地の一つで、森林浴で健康になるための様々な取組を行っている。白山順礼峠、鐘ヶ嶽、二の足林道がセラピーロードとして認定
飯山観音(長谷寺) (厚木市)	観光	かながわ景勝 50 選の地にも選ばれている坂東三十三カ所霊場の第六札所。桜の名所でもあり市指定文化財の銅鐘と観音堂もある

(別添) 様式 1

観光資源	区分	内容
自然環境保全センター (厚木市)	観光	自然に親しみ、より理解してもらうための施設。動植物が展示され、センター周辺に6つの自然散策コース
大釜弁財天 (厚木市)	観光	大沢川上流にある弁財天。霊験あらたかなパワースポット。夏場は市内屈指の清涼スポット
亀石 (厚木市)	観光	鬱蒼とした森の中に鎮座する巨大な石(岩)で、自然の力を感じるパワースポット
飯山トレイルランニングコース (厚木市)	スポーツ	飯山白山森林公園周辺のハイキングコースを利用したトレイルランニングのコース
あつぎ飯山桜まつり (3月～4月) (厚木市)	イベント	桜の名所である飯山において、満開の桜の下、飯山白龍太鼓や白龍の舞、飯山温泉芸妓衆によるさくら輿等
飯山花の里 あつぎ飯山ポピーまつり (5月) (厚木市)	イベント	飯山花の里において、約5万本の満開のポピーの下、飯山白龍太鼓や白龍の舞などの郷土芸能や演芸会等
あつぎつつじの丘公園 つつじが元気に咲きました! (5月) (厚木市)	イベント	5万2千本のつつじが植えられた同公園は、市内屈指の花の名所であり、イベントでは、大道芸や小動物園、骨董市等
飯山あやめの里 あつぎ飯山あやめまつり (6月) (厚木市)	イベント	「かながわの花の名所100選」でもある飯山あやめの里の約5千株のハナショウブの下、撮影会や演芸会など
飯山花の里 あつぎ飯山秋の花まつり (11月) (厚木市)	イベント	飯山花の里において、約5千本の満開のざる菊の下、飯山白龍太鼓などの郷土芸能や演芸会等
あつぎ七沢森のまつり (11月) (厚木市)	イベント	七沢森林公園であいの広場において、地元野菜直売や屋台村、千人シシ鍋、足湯、演奏会等
あつぎつつじの丘公園 もみじまつり! (厚木市)	イベント	紅葉の下、郷土芸能や大道芸、パターゴルフ等

(別添) 様式 1

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

市町村名	施設数	収容力 (人)	備考
エリア内 4市町村	26	2,324	相模原市、厚木市は、宮ヶ瀬湖へのアクセス上に位置する宿泊施設のみを抽出した。 愛川町、清川村は全域の宿泊施設とした。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

ア 区域までの交通

(ア) 宮ヶ瀬湖畔園地へのアクセス

・車でのアクセス

中央道相模湖 I.C からの場合	国道 20 号→国道 412 号「三ヶ木」交差点を厚木方面へ、「関」交差点を宮ヶ瀬方面へ (約 40 分)
東名高速厚木 I.C からの場合	国道 129 号 (国道 246 号) → 県道 60 号→県道 64 号 (清川村方面へ) (約 45 分)
東名高速厚木 I.C からの場合	国道 129 号 (国道 246 号) 「市立病院前」交差点左折→国道 412 号「半原小学校入口」交差点を左折→県道 514 号 (清川方面へ) (約 50 分)
圏央道相模原 I.C からの場合	県道 510 号→県道 513 号→国道 412 号経由 (約 20 分)

・電車+バスでのアクセス

小田急本厚木駅から 宮ヶ瀬湖畔園地	神奈川中央交通バス「宮ヶ瀬」行き終点下車 (約 60 分)
----------------------	-------------------------------

(イ) 鳥居原園地へのアクセス

・車でのアクセス

中央道相模湖 I.C からの場合	国道 20 号→国道 412 号「三ヶ木」交差点を厚木方面へ、「関」交差点を宮ヶ瀬方面へ (約 38 分)
東名高速厚木 I.C からの場合	国道 129 号 (国道 246 号) → 県道 60 号→県道 64 号 (清川村方面・宮ヶ瀬経由) (約 47 分)
東名高速厚木 I.C からの場合	国道 129 号 (国道 246 号) 「市立病院前」交差点左折→国道 412 号「半原小学校入口」交差点を左折→県道 514 号 (清川方面・宮ヶ瀬経由) (約 52 分)
圏央道相模原 I.C からの場合	県道 510 号→県道 513 号→国道 412 号経由 (約 18 分)

・電車+バスでのアクセス

JR・京王橋本駅から 鳥居原園地	神奈川中央交通バス「鳥居原ふれあいの館」行き終点下車 (約 50 分)
---------------------	-------------------------------------

(ウ) あいかわ公園へのアクセス

・車でのアクセス

中央道相模湖 I.C からの場合	国道 20 号→国道 412 号「三ヶ木」交差点を厚木方面へ、「清正光入口バス停」交差点右折→あいかわ公園 (約 50 分)
東名高速厚木 I.C からの場合	国道 129 号 (国道 246 号) → 県道 60 号→県道 64 号 (清川村方面へ) → 「半原小学校入口」交差点左折→国道 412 号「清正光入口バス停」交差点左折→あいかわ公園 (約 50 分)

(別添) 様式 1

東名高速厚木 I.C からの場合	国道 129 号 (国道 246 号) 「市立病院前」交差点左折→国道 412 号「清正光入口バス停」交差点左折→あいかわ公園 (約 40 分)
圏央道相模原 I.C からの場合	県道 510 号左折→国道 412 号「清正光入口バス停」交差点右折→あいかわ公園 (約 30 分)

・電車+バスでのアクセス

小田急本厚木駅から あいかわ公園	神奈川中央交通バス「センター経由半原」行き「愛川大橋」下車 (約 60 分) →バス停から徒歩約 20 分
JR・京王橋本駅から あいかわ公園	神奈川中央交通バス「三ヶ木」終点下車 (約 35 分) →関経由半原行き「石小屋入口」下車 (約 15 分) →バス停から徒歩 15 分
JR 横浜線 淵野辺駅から あいかわ公園	JR 横浜線 淵野辺駅南口から上溝経由田名バスターミナル行きバス「田名バスターミナル」(終点)乗り換え、 田名バスターミナルから箕輪辻経由半原行きバス「半原」(終点)下車、徒歩約 25 分

イ 域内交通

遊覧船	宮ヶ瀬湖畔・ダムサイト・鳥居原エリア内 3 エリアを結ぶ移動手段及び湖水面からの自然観察や景観を楽しむ 運航日：土・日・祝日・観光放流日、4 月 29 日～5 月 8 日・8 月 11 日～16 日
シャトルバス	宮ヶ瀬湖畔エリア、鳥居原エリア、あいかわ公園、水とエネルギー館を一周 運行日：年間 21 日程度 ゴールデンウィーク、夏休み、紅葉シーズン

【外国人観光客への対応】

外国人観光客用パンフレット、3 拠点マップの作成・配布

財団所管分：3 拠点マップ英語版の作成・ホームページ公開、工芸工房村体験工房関係英語版チラシ及び冊子作成・配布

無料 Wi-Fi 整備

財団所管施設：宮ヶ瀬やまなみセンター、みやがせミーヤ館、宮ヶ瀬湖カヌー場、あいかわ公園、工芸工房村に無料 Wi-Fi 整備

水の郷商店街プロムナードに無料 Wi-Fi 整備

飯山温泉郷及び東丹沢七沢温泉郷の温泉旅館に無料 Wi-Fi 整備

外国人向け案内サイン設備、ガイド養成 等

財団所管分：多言語緊急事態対応アプリ入りタブレットを各案内施設に配布 8 台、みやがせミーヤ館周辺案内ボード英語版作成・掲示

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

(財団主体のもの)

収集するデータ	収集の目的	収集方法
宮ヶ瀬湖周辺3拠点における施設利用者数の推移	3拠点の施設利用者数を把握し、経年変化を把握するため、グラフ化し、前年度対比等、事業効果測定等を行い理事会、評議員会等に業務執行状況として定期報告	財団が各施設等から毎月統計データを入手
宮ヶ瀬湖周辺イベント開催実績表	宮ヶ瀬湖周辺イベント数、参加者数の経年変化を把握し、事業効果測定等を行い理事会、評議員会等に業務執行状況として定期報告	財団が各施設や開催団体から毎月統計データを入手
乗物、駐車場、財団管理施設の利用状況	財団経営戦略会議において、財団経営に大きな影響のある乗物、駐車場、施設関係の利用状況や収入状況を数値、グラフ化し、前年度、5カ年平均、目標値との対比を行い、増減要因の分析	財団が日報、月報データに基づき毎月作成
来訪者動向調査	圏央道の相模原インターチェンジの共用開始などを踏まえ、新たな広報戦略や事業展開に活用するため、来訪者動向調査を実施	季節ごとに3拠点施設において調査 H26～27 車両ナンバー調査 H28 モニタリング調査
イベントアンケート調査	財団主催のイベント開催時に参加者にアンケートを行い事業に対する評価、効果測定を実施	イベント参加者からアンケート
指定管理業務に伴うモニタリング調査	県指定管理施設について月例報告及び4半期ごとに利用者満足度調査の実施	財団利用料金施設等の統計及び施設利用者からのアンケート
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	ホームページのアクセスログ解析ツールにより分析

(関係機関の協力を得るもの)

収集するデータ	収集の目的	収集方法
宮ヶ瀬湖利用実態調査	国土交通省が全国ダム貯水池の実態を把握するために実施している調査、利用目的やブロック区分毎の利用者数などの分析	国土交通省相模川広域ダム管理事務所の協力を得て実態調査結果を入手
神奈川県入込観光客調査	神奈川県内の各観光地を訪れた観光客の延数の経年変化を調査観光客の動向を「日帰り」と「宿泊」で調査し、県内市町村別、観光地・観光施設別に集計	県ホームページ等から入手

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り圏内で首都圏最大級のダム湖として年間 150 万人以上の来訪者がある ・宮ヶ瀬湖周辺の 3 拠点を中心に施設整備が行われ、民間事業者も含めた豊富な観光資源が存在、年間 300 以上のイベント実施 ・国、県、関係市町村、地元関係者等と連携、協力に基づき設立され、地域活性化や水源環境理解促進の豊富な経験と実績をもつ宮ヶ瀬ダム周辺振興財団が存在する ・地域観光情報等をワンストップで提供するみやがせミーヤ館や、県内 3 番目の道の駅清川がオープン 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体ツアー客を定期的に受け入れる食事の提供場所などが少ない ・日帰り観光地として発展をしてきており、宿泊施設が脆弱 ・宮ヶ瀬湖畔エリアは、水の郷商店街施設の老朽化、子供の遊具施設が少ない ・鳥居原エリアは、駐車スペースが少なく、湖への段差も大きく、親水性に欠ける ・あいかわ公園・ダムサイトエリアは繁忙期の周辺交通対策や水とエネルギー館の展示施設が縮小
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏央道の整備進捗、中央リニア新幹線の関東車両基地等の整備計画 ・東京オリンピック、パラリンピック開催に向けたスポーツ熱の高まり ・広域圏や外国からの観光客の増加 ・体験学習・健康増進型需要の高まり ・カヌー、ロードバイク、山岳トレイルなど特定のアウトドアニーズ (需要、客層) の増加 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏央道の整備進捗による広域圏間競争の激化 ・地域内交通インフラが脆弱 ・広域圏、国際面での地域の情報発信力が脆弱 ・地域の高齢化、人口減少 ・自治体の財政難

(2) ターゲット

・従前からのリピーター客層を、まずは第1ターゲット

来訪者動向（モニタリング）調査の結果を踏まえ、確実にリピーターとして来訪していただける客層を大切に、基本ベースをしっかりと維持する。

・宮ヶ瀬湖周辺地域を取り巻く環境の変化（外部環境の好影響）を捉え、時間の流れに沿った、新たな顧客層を開拓する。（第2、第3のターゲット）

2015-16（H27-28） 圏央道の整備による交通アクセスの向上

2020年（H32） 東京オリンピック、パラリンピック開催に向けたスポーツ熱の高まり

2027年（H39） 最先端の科学技術である中央リニア新幹線の関東車両基地の整備計画等

○第1ターゲット層

首都圏近郊の家族連れ客

【選定の理由】

首都圏から日帰り圏内で、充実した公園施設等を有する宮ヶ瀬湖周辺地域には、首都圏近郊の家族連れ客で、自家用車利用のリピーター客が圧倒的に多く、この客層を大切にされた施策を展開し、集客力の基本ベースをしっかりと維持する。

【取組方針】

来訪目的であるイベントや散策、休憩や自然景観といった宮ヶ瀬湖周辺地域の魅力を一層充実させるため、外部環境の変化に伴う機会、脅威、地域の内部的な強み、弱みを勘案し取組方針とする。

圏央道の整備が進み、各高速道路網がつながるなど交通アクセスの向上を踏まえ、総合案内等による広域圏へ対応力強化、3拠点の特性を活かしたイベントや体験学習の実施、子供から高齢者までが楽しめる環境づくりや地域ブランドづくり、3拠点間の回遊、湖上交通の魅力アップなどを図る。

① 総合案内・ワンストップ機能の強化

市場分析・マーケティング調査に基づく広域広報戦略の構築
グループウェアによる3拠点の情報共有基盤の整備
みやがせミーヤ館のワンストップ機能の強化

② 地域活性化や水源環境理解促進に向けた魅力あるイベントの開催

みやがせフェスタ、自然観察会、伝統工芸体験
宮ヶ瀬クリスマス、あいかわ公園つつじまつり、ふるさとまつり花火大会 等

③ 自然環境や地場産業と結びついた体験学習の場づくり

工芸工房村、愛川繊維会館レインボープラザ等の活用
やまなみセンター、みやがせミーヤ館、町村郷土資料館
自然を活かした体験型メニューの開発

④ 地域観光ブランド、稼ぐ力の確立

宮ヶ瀬オリジナルグッズの充実
稼ぐ力の強化と雇用の場の創出
宮ヶ瀬ガイドの育成・活用（地域に密着し地域を見つめ直す着地型観光の充実）
広報戦略として宮ヶ瀬キャラクター（ミーヤくん、あいちゃん）の活用

⑤ 3拠点の回遊性の向上

湖の特性を活かした周辺の地域間交通の強化（湖上交通である遊覧船の活用）
一度駐車した場所から地域内交通で移動し、楽しみ、渋滞等を回避

(別添) 様式 1

・モニタリング調査結果 (H25.2:宮ヶ瀬ダム周辺振興財団調査)

来訪者の構成	家族連れ 70.7%、一人 11.9%、友人 7.8%
来訪者居住地	宮ヶ瀬 3 市町村 (愛川町、清川村、相模原市) 32.8% その他神奈川県居住者 46.1% 関東近郊 (東京都、千葉県) 14.8%
来訪目的	イベント 24.6%、散策 23.5%、休憩・観光 9.9%、スポーツ 2.9% その他 36.2% (遊び、子どもを遊ばせる、ドライブ、野菜購入)
居住地域別の来訪目的	宮ヶ瀬 3 市町村 (愛川町、清川村、相模原市) : イベント 47.8%、観光 3.5% その他神奈川県居住者 : 散策 25.2%、イベント 15.7% 関東近郊 (東京都、千葉県) : 散策 23.5%、休憩 15.7%、イベント 3.9%
宮ヶ瀬の魅力	景観 63.5%、施設 12.2%、イベント 10.7%、食べ物・土産品等 10.1%
来訪頻度	年に数回 46.4%、月に数回 27.2%、 初めて 9.6%、数年に 1 回 8.1%、週に数回 5.2%
交通手段	自家用車 83.8%、バイク 9.0%、路線バス 2.3%

・モニタリング調査結果 (H28.3:宮ヶ瀬ダム周辺振興財団調査)

来訪者の構成	家族連れ 78%、一人 9%、友人 8.1%
来訪者居住地	宮ヶ瀬 3 市町村 (愛川町、清川村、相模原市) 33.8% その他神奈川県居住者 44.7% 関東近郊 (東京都、千葉県) 20.6% その他 (山梨県・静岡県) 0.9%
来訪目的	遊び、子どもを遊ばせる、ドライブ、野菜購入、散策、休憩・観光
宮ヶ瀬の魅力	景観 65.7%、イベント 13.6%、施設 11.8%、食べ物・土産品等 8.9%
来訪頻度	年に数回 52%、月に数回 22%、数年に 1 回 8.4%、週に数回 4.1%
交通手段	自家用車 88%、バイク 8.5%、路線バス 2%

・平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果 (ダム湖版) H23.3

全国ダム 年間利用者数第一位 首都圏から日帰り圏内、充実した公園施設
散策 434 千人、イベント利用 351 千人、スポーツ 32 千人、ボート 16 千人

・日本経済新聞社「NIKKEI プラス 1」 「夏に行きたい観光ダム、ベスト 10」 H28.6.12

1 位	宮ヶ瀬ダム (神奈川県)	1070 ポイント
2 位	黒部ダム (富山県)	930 ポイント
3 位	日吉ダム (京都府)	780 ポイント

○第 2 ターゲット層

スポーツ・レクリエーション愛好者、体力づくり・健康志向派

【選定の理由】

宮ヶ瀬湖畔園地内にある親水池や本湖でのカヌー・ボート利用客の増加、湖周辺におけるマラソン競技や山岳トレイルレースの開催など、スポーツ需要の高まりがある。

また、県の重要施策である「未病への取組み」や「子どもの体力・健康づくり」など子どもから高齢者までのあらゆる世代が、自然環境の中で、楽しみながらレクリエーションを行い健康増進をできる環境づくりが求められている。

【取組方針】

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたスポーツ熱の高まり、宮ヶ瀬湖周辺地

(別添) 様式 1

域におけるカヌー、ボート、ロードバイク、山岳トレイルなど特定のアウトドアニーズ（需要、客層）の増加に応じ、首都圏最大級のダム湖の自然環境を活かしたレクリエーションによる健康づくりやスポーツ振興による地域活性化を図る。

① カヌーの「宮ヶ瀬」事業の充実

カヌースクール、Eボート体験ツアー、レンタルカヌー

② 楽しみながら健康増進ができる環境づくり

多目的広場（小中沢園地）でのグランド・ゴルフ等、自転車の駅レクリエーション・アスレチック施設整備（グラスライダーの再開等）
冒険の森アスレチック、アウトドアヨガ、ツリークライミング体験（あいかわ公園）

③ 森と湖の中での本格的なスポーツ

宮ヶ瀬湖 24 時間リレーマラソン
清川やまびこマラソン大会、宮ヶ瀬湖マラソン大会（相模原市）
東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース

○第3ターゲット層

今後、市場分析・マーケティング調査等の結果を踏まえターゲットを検討
（インバウンド：訪日外国人旅行、団体バスツアー客等）

【選定の理由】

豊かな自然に囲まれた宮ヶ瀬湖周辺は、土木技術の粋を結集した首都圏最大級のダム、県内初のメガソーラー施設などがあるが、今後、日本が誇る最先端の科学技術であるリニア中央新幹線の関東車両基地計画（相模原市緑区）があり、地域に劇的な変化をもたらされる可能性がある。

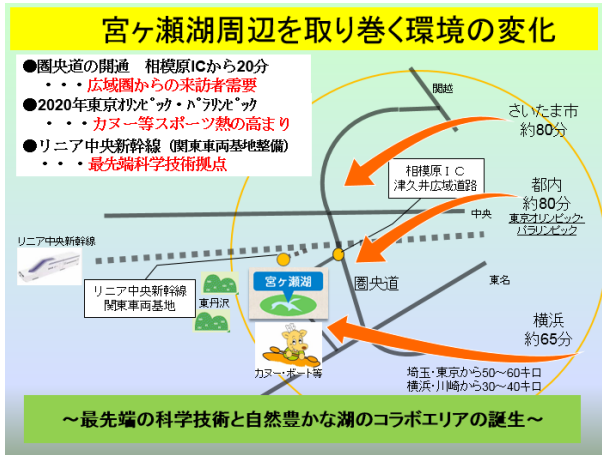
また、愛川町では、横須賀水道半原水源地跡地における観光拠点づくり、清川村では、宮ヶ瀬水の郷地域及び湖畔園地活性化構想の検討が進められている。

インバウンド（訪日外国人旅行）や団体バスツアー客等などについては、こうした宮ヶ瀬湖周辺地域の将来像を見据えた対応を検討していく。

【取組方針】

今後、市場分析・マーケティング調査等を行い、その結果を踏まえたプログラム作成を行い、宮ヶ瀬湖周辺地域を「豊かな自然環境と最先端の科学技術がコラボするエリア」として日本国内のみならず世界に向けて発信していき、首都圏における新たな観光の核としていく。

- ・市場分析・マーケティング調査に基づく広域広報戦略の構築（再掲）
- ・リニア中央新幹線の関東車両基地に隣接する鳥居原園地の施設拡充や親水性の向上
- ・半原地域における観光・産業連携拠点づくり構想
- ・宮ヶ瀬水の郷地域及び湖畔園地活性化構想
- ・宮ヶ瀬湖周遊交通（遊覧船、バス路線）の充実方策
- ・宮ヶ瀬湖アクセス向上、周遊ルートの整備
- ・外国人観光客受入のための環境整備 等



宮ヶ瀬湖周辺地域の将来ビジョン・計画

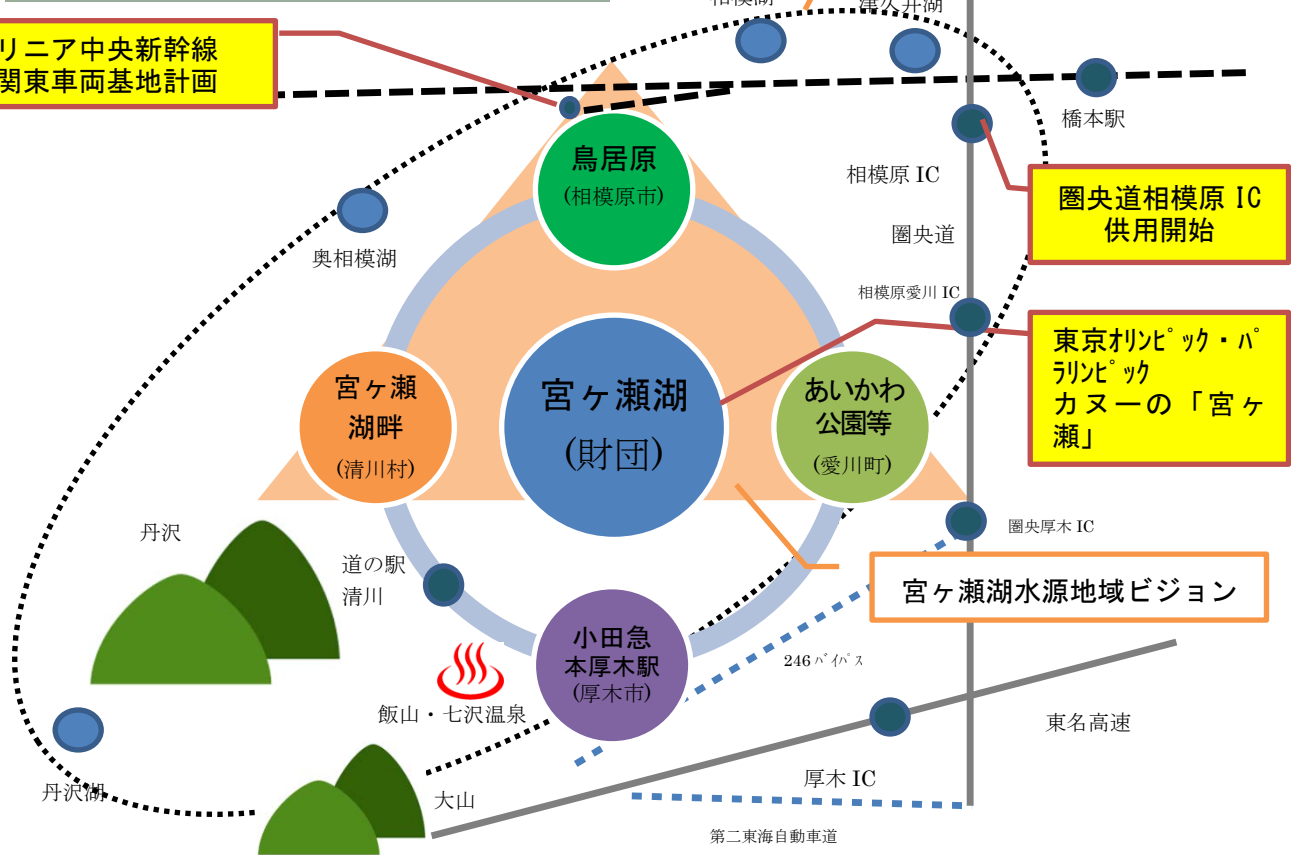
やまなみ五湖水源地域 交流の里づくり計画

リニア中央新幹線 関東車両基地計画

圏央道相模原 IC 供用開始

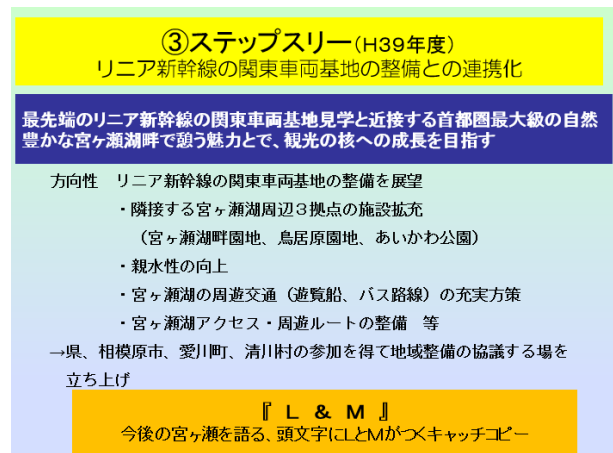
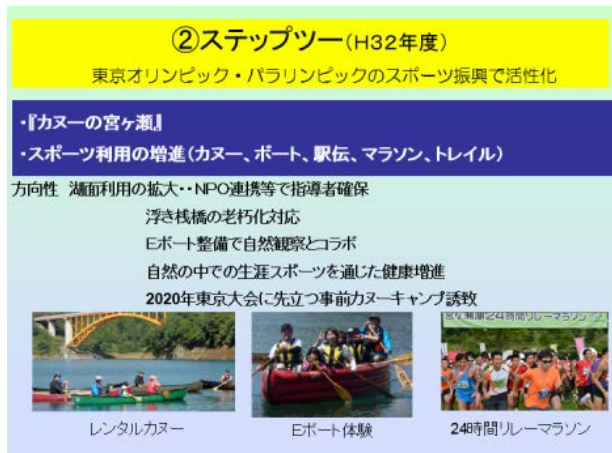
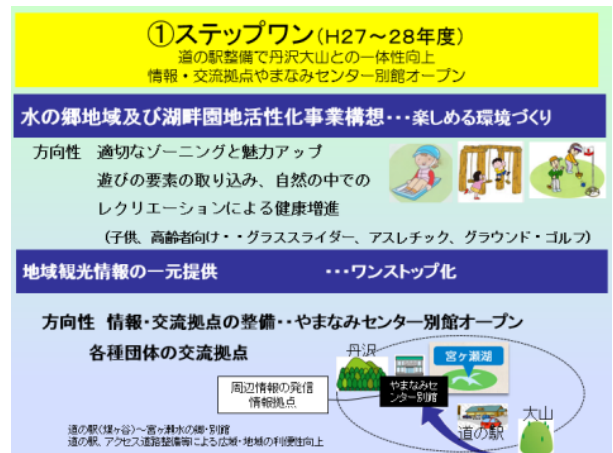
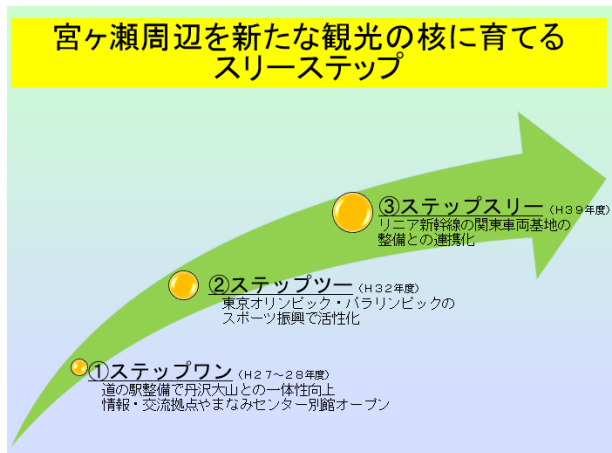
東京オリンピック・パ ラリンピック カヌーの「宮ヶ 瀬」

宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン



(3) コンセプト

①コンセプト	『都心から一番近いオアシス 水源地宮ヶ瀬』
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・水と緑に囲まれた首都圏最大級の湖である宮ヶ瀬湖は、都心から約 50km に位置し、首都圏から日帰り圏内で、1 日を満喫できる施設、乗物が充実しており、四季折々に年間 300 を越えるイベントを開催し 150 万人もの来訪者がある「日本一の人を惹きつけているダム湖」であること。 ・県内最後の人造湖として、神奈川県下 15 市 5 町に水道水を供給するなど、貴重な水源地となっていること。 ・宮ヶ瀬の特徴である豊かな自然や良質な水の保全を図りながら、自然環境を生かした都市部との交流により、地域活性化の推進を目指す方向性が示せること。 ・将来ビジョンも、最先端の科学技術と自然豊かな湖のコラボエリアとして、人々が憩い、集い、人を惹きつける新たな観光の核となることを目指していること。 ・従前から、財団ホームページや各種パンフレットに使用しているキャッチフレーズであり、一定の周知が図られていること。



(別添) 様式 1

○参考：国、県等の計画における基本理念など

項目	基本理念など
宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域基本整備計画 (H4. 4)	人と自然、都市と地域の交流・共存をめざす、自然公園的機能をもった都市近郊リゾート地の形成
宮ヶ瀬湖憲章(H10. 4)	<ul style="list-style-type: none"> 1 清らかな宮ヶ瀬湖の水を、みんなで大切にしよう。 1 美しい宮ヶ瀬湖周辺を、みんなで守ろう。 1 宮ヶ瀬湖周辺の自然を、みんなで育て利用しよう。 1 宮ヶ瀬湖の意義・歴史を忘れず、みんなで後世に伝えよう。
宮ヶ瀬ダム水源地域ビジョン(H15. 2)	地域・都市住民一体となった自発的なとりくみのもと、大規模コンクリートダム、湖畔の多彩な施設群、豊かな宮ヶ瀬湖周辺の自然などの地域の自然を保全・活用して自然と融合するレクリエーション地域としてともに自然に抱かれた生活・交流の場として宮ヶ瀬湖周辺の活性化を図ります。
やまなみ五湖水源地域交流の里づくり計画(H28. 3)	<p>～人と暮らしに着目した新たな連携と交流をめざして～</p> <p>○宮ヶ瀬湖周辺地域での取組みの基本方向</p> <p>宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化などを目的に設置された宮ヶ瀬ダム周辺振興財団や、国、地元市町村などと連携して、地域資源や既存の施設の複合的活用、地場産品・伝統産業などの活用により、地域の活性化を図ります。</p> <p>また、豊かな自然の中で、子供から高齢者までのあらゆる世代が楽しむことができるレクリエーションなどを通じた健康増進の取組みや、様々なイベントの実施、それに必要な施設の整備を行うことで、人々が何度でも訪れたいくなるような賑わいの絶えない地域づくりを目指します。</p> <p>さらに、土木技術の粋を結集したダムや周辺施設、地域に残る様々な伝統工芸など多彩な地域の資源を活用し、上下流域交流の場として、継続的に都市と地域の交流・連携を図っていきます。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有</p>	<p>(財団が主体になるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮ヶ瀬湖周辺の地方自治体の首長や議長、関係団体の代表から構成される評議員会、理事会等において、事業計画や事業報告を実施 ・宮ヶ瀬湖周辺で活動する団体の長などが一堂に会する団体交流会などで情報交換等を実施 <ul style="list-style-type: none"> 理事会・評議員会 (定期開催 毎年 2 回) 7 ページ参照 宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進懇談会 (毎年 1 回) 宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議 (毎年 1 回程度) 宮ヶ瀬湖周辺活動団体交流会 (毎年 1 回) <p>(関係行政機関が主催し、財団が構成員となるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> (国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所) 宮ヶ瀬湖水源地域ビジョンを推進するため、重点施策の事業実施計画・進行管理台帳の承認、実現化の方策・重点施策の見直し等を目的として設置 協議会委員 理事長、推進会議委員 常務 ・水源地域交流の里づくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> (神奈川県土地水資源対策課) かながわランドデザインに基づく水源地域における交流の里づくり事業を行政と民間が一体となって円滑に推進するために設置 協議会会長 副知事 地区推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> 県央地区推進協議会 (宮ヶ瀬湖エリア) 里案内人会議 着地型・体験型水源地モデルツアーの作成に向けた検討 ・県央地域観光推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> (県央地域県政総合センター企画調整部商業観光課) 県央地域における広域的な観光を振興するため、観光情報の収集・発信、観光エリアの魅力向上、観光推進体制の整備等の取組を実施 構成員 県、市町村の観光担当課、関係機関 会長 県央地域県政総合センター企画調整部長 監事 常務 (事務局長) <p>(宿泊事業等との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度は、財団が飯山温泉旅館組合、東丹沢七沢旅館組合、愛川町観光協会、水の郷観光協同組合、神奈川県立愛川ふれあいの村等へ個別訪問、協力要請を行うなど、宿泊事業者等との日本版DMO 推進の取組に向けた合意形成や一層の連携・強化を図るための取組を進めた。また、平成 29 年 3 月以降は、「宮ヶ瀬湖周辺活動団体交流会」にこれらの団体等に加入していただき、他の地域住民や活動団体も含めた横連携強化を図っている。

項目	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前からの取組により、神奈川県立愛川ふれあいの村に宿泊した団体客（学校、スポーツ団体）が宮ヶ瀬湖周辺の施設での体験学習を行うなど連携が定着している。 ダムサイトにある水とエネルギー館でのレクチャー体験 観光放流、レインボープラザでの伝統工芸体験 宮ヶ瀬湖畔園地でのカヌー体験 等 ・平成 29 年度は、地方創生推進交付金を活用し、神奈川県において宮ヶ瀬湖周辺地域での宿泊も含んだ広域的な周遊のためのモデルルートや新たな旅行商品の開発に取り組んでいる。 ・県でのモデルルート開発などの取組を受け、財団でも平成 30 年度以降、市町村をまたがる広域性を発揮した地域連携事業として、事業者や地域が Win-Win の関係を構築できるモデルの実証実験を検討。（飯山・七沢エリア含む） <p>(事業例)</p> <p>旅行会社が企画する宮ヶ瀬湖周辺地域の市町村をまたがる広域的なツアーへの協力</p> <p>→財団（DMO）が地域の人材や施設を組合せ、提案</p> <div data-bbox="662 922 1348 1099" style="text-align: center;"> <p>宿泊（宮ヶ瀬湖畔～宿泊～ダムサイト体験）</p> </div> <p>周辺地域の観光資源を結びつけたコーディネートモデル事業 →地域クーポン券（宮ヶ瀬手形）：食事・土産、体験教室、乗物、温泉利用券等</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>(財団が主体になるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者サービス向上として、総合案内機能の充実を図り、来訪者のリピーター需要を喚起するもてなしの心をもった人材育成を実施 ・宮ヶ瀬独自の園地グッズや伝統工芸品の開発を進め地域の魅力発信 ・やまなみグッズ等地域の地場産品などを紹介、水の郷商店街、鳥居原ふれあいの館、あいかわ公園、道の駅清川などと連携 ・未病・健康・体力づくりプログラムの実施 ・上記のモデル事業 <p>(関係行政機関や財団も含めた団体等が主体となるもの)</p> <p>「宮ヶ瀬湖水源地域ビジョンの重点施策」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい時間を提供するとりくみ(来訪者の視点からの「重点施策」) いろいろな活動を組み合わせた楽しみ方・過ごし方の提供 (湖周辺の観光資源めぐり、ハイキングコース、環境学習、案内人、観光放流等) 既存施設等の有効活用(活動、イベント募集、つり橋活用等) 宮ヶ瀬湖周辺地域での多様なイベントの開催 (宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい等) ゆっくり遊んでもらうための体系的な交通手段の充実

(別添) 様式 1

項目	概要
	<p>だれもが快適に使える施設の充実・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の連携を強化するとりくみ(水源地住民・都市住民の視点からの「重点施策」) 宮ヶ瀬湖憲章の普及と推進 地域の特性に根ざした地域間の連携 多様な情報手段による情報発信 総合案内の充実 行政、民間、地域相互での連携 地域資源の活用 地場産品等の普及 ・自然を守り育てるとりくみ(自然環境の視点からの「重点施策」) 自然環境の保全・管理 <p>「やまなみ五湖水源地域交流の里づくり計画」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の里イベント(「里の交流祭」、「自然体験交流教室」)開催支援 ・「里の案内人」活動の充実 ・ホームページ等による情報発信の促進 ・水源地域内の施設連携による交流の促進 ・やまなみグッズをはじめとした地域特産品への支援 ・着地型・体験型水源地ツーリズムの推進 ・山里文化の再生・山里ライフの発信 ・上下流域自治体間交流事業の開催、支援 ・都市地域における水源地域理解促進事業の実施 ・上下流域小学校等交流事業の実施 ・水源地域を学ぶ体験学習の機会拡大 ・NPO、企業、大学などとの協働事業の検討
<p>一元的な情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と相互連携を図りながら宮ヶ瀬湖周辺の観光情報発信等をワンストップで行う窓口として、平成 28 年 5 月にみやがせミーヤ館がオープン、総合案内の充実・強化を図る。 ・周辺自治体等と連携を図りながら、ホームページやツイッター、キャラクターなどを利用した効果的なプロモーションを実施。

6. KPI (実績・目標)**(1) 必須KPI**

旅行消費額、延べ宿泊者数、来訪者満足度、リピーター率

指標項目	単位	H27年 (度)	H28年 (度)	H29年 (度)	H30年 (度)	H31年 (度)	H32年 (度)
●旅行消費額	千円	1,126,702	1,139,000	1,147,000	1,155,000	1,164,000	1,171,000
●延べ宿泊者数	千人	85	84	84	85	85	85
●来訪者満足度	%	80.3	86.8	81	82	82	82
●リピーター率	%	86.9	86.5	87	87	87	87

旅行消費額、延べ宿泊者数は神奈川県入込観光客調査結果等を参考としており、H28年は未確定(H29.7現在)

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

平成28年度に関係行政機関から構成される宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議において、統計データや行政上の目標値を参考に相関関係等を分析し、目標値を定めた。

その後、関係団体への個別訪問・通知、団体交流会、理事会、評議員会を経て、目標値の合意を得た。

なお、宮ヶ瀬湖周辺地域は、愛川町と清川村の全域、相模原市と厚木市の各々一部エリアを対象としており、4市町村のエリアにまたがる。

このため、個別市町村の統計データのみでは状況把握が困難であることから、財団では従前より独自に統計データ収集や来訪者数の目標値設定を行っている。

【設定にあたっての考え方】**●旅行消費額**

神奈川県入込観光客調査結果及び宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数等の相関関係を確認し目標値を設定

- ・継続的な数値把握が可能な神奈川県入込観光客調査結果及び各市町村における観光振興計画における延べ観光客数等の目標数値をもとに、一人当たり消費額や情報提供・公開可能な範囲を調査した結果、目標値が定まっていない場所や個別切り出しが困難なエリア(厚木市七沢・飯山温泉)等が発生したことから、愛川町・清川村は町村の旅行消費額、相模原エリアは観光拠点である鳥居原ふれあいの館の売上額を基本に目標設定することとした。
- ・宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数(施設利用者数)変化と上記のエリアにおける旅行消費額変化の相関関係を平成19年度から平成26年で調査したところ、相関関係が認められたことから、財団における宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数(施設利用者数)の目標値の変化を旅行消費額にも反映し、旅行消費額の目標値を設定した。
- ・財団における宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数(施設利用者数)の目標値は、中長期経営計画を策定するにあたり、周辺地域における新たな施設整備や施策、圏央道の開通に伴う波及効果、過去における数値変化のトレンドなどを考慮し、平成32年度の目標値を171万人と定めたものである。

●延べ宿泊者数

神奈川県入込観光客調査結果及び宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数等の相関関係を確認し目標値を設定

- ・継続的な数値把握が可能な神奈川県入込観光客調査結果及び各市町村における観光振興計

(別添) 様式 1

画における延べ観光客数等の目標数値をもとに、延べ宿泊者数や情報提供・公開可能な範囲を調査した結果、目標値が定まっていない場所や個別切り出しが困難なエリア（相模原市緑区のエリア内の宿泊者数（旅館1軒のみ）、厚木市七沢・飯山温泉の旅行消費額、延べ宿泊者数）等が発生したことから、上記の旅行消費額の設定を考慮し、公開・把握可能な愛川町・清川村における延べ宿泊者数を基本に目標設定することとした。

- 宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数（施設利用者数）変化と上記エリアの延べ宿泊者数の相関関係を平成19年度から平成26年で調査したところ、宮ヶ瀬湖周辺地域は、日帰り観光地としての特性を持ち、相関関係が弱く、宮ヶ瀬湖3拠点来訪者数（施設利用者数）の目標値を延べ宿泊者数の目標値に反映することは見送った。
- このため、愛川町・清川村における延べ宿泊者数の直近3年間数値の変化から将来を予測する関数を使用し、延べ宿泊者数の目標値を設定した。
- また、宮ヶ瀬湖周辺地域は、首都圏近郊の日帰り観光地として発展をしてきているため、今後、新たに厚木市七沢・飯山エリアを加え、この地域との連携強化により宿泊需要の増を図っていくこととして、関係者の合意を得た。
- なお、神奈川県入込観光客調査では、「主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事別観光客数」としての厚木市七沢・飯山温泉の来訪者数は公表されており、同エリアでの数値変化の一定把握は可能である。

●来訪者満足度
財団の実施する来訪者モニタリング調査結果をもとに目標値を設定

- 財団でのモニタリング調査結果に基づき設定。既に8割を超える高レベルに達していることから、来訪者が増加した場合にも、サービス維持に努め現状維持を図ることとした。

●リピーター率
財団の実施する来訪者モニタリング調査結果をもとに目標値を設定

- 財団でのモニタリング調査結果に基づき設定。既に8割を超える高レベルに達していることから、来訪者が増加した場合にも、サービス維持に努め現状維持を図ることとした。

(2) その他の目標

指標項目	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
●宮ヶ瀬湖周辺3拠点施設利用者数	万人	159	155	163	166	168	171
●来訪者の広域化率 神奈川県外来訪者率	%	24	27	28	29	30	30

訪日外国人への対応は、今後検討

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

(別添) 様式 1

【検討の経緯】

平成 28 年度に関係行政機関から構成される宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進課長会議において、統計データや行政上の目標値を参考に相関関係等を分析し、目標値を定めた。

その後、関係団体への個別訪問・通知、団体交流会、理事会、評議員会を経て、目標値の合意を得た。

なお、宮ヶ瀬湖周辺地域は、愛川町と清川村の全域、相模原市と厚木市の各々一部エリアを対象としており、4市町村のエリアにまたがる。

このため、個別市町村の統計データのみでは状況把握が困難であることから、財団では従前より独自に統計データ収集や来訪者数の目標値設定を行っている。

【設定にあたっての考え方】

●宮ヶ瀬湖周辺 3 拠点施設利用者数

財団及び関連施設の収集している施設利用者数に基づき、今後の展開される施策の波及効果等を勘案し目標値を設定

- ・財団における宮ヶ瀬湖 3 拠点来訪者数（施設利用者数）の目標値は、中長期経営計画を策定するにあたり、周辺地域における新たな施設整備や施策、圏央道の開通に伴う波及効果、過去における数値変化のトレンドなどを考慮し、平成 32 年度の目標値を 171 万人と定めたものである。

●来訪者の広域化率

財団の実施する来訪者モニタリング調査結果をもとに目標値を設定

- ・圏央道の開通に伴い、神奈川県以外の広域圏からの来訪者需要増を見込み、財団が実施している統計データのトレンドなどを基づき、来訪者の約 3 割を目標値とすることで設定した。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入 (H28 中長期経営計画策定時推計：平成 27 年度決算額をもとに推計)

年度	総収入 (千円)	内訳
28年度	492,159千円	公益目的事業 374,239千円
		基本財産・特定資産運用益 2,361千円
		参加者負担金等収益 25,417千円
		助成金収益 2,066千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 13,630千円
		受託事業収益 (県、国) 328,484千円
		補助金等収益 1,041千円
		雑収益 1,240千円
		収益事業等 102,566千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 22,848千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 28,975千円
		自主事業収益 (乗物) 50,743千円
		法人運営事業 15,354千円
基本財産運用益 15,354千円		
29年度	510,294千円	公益目的事業 378,661千円
		基本財産・特定資産運用益 2,163千円
		参加者負担金等収益 27,259千円
		助成金収益 300千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 13,921千円
		受託事業収益 (県、国) 321,016千円
		補助金等収益 13,992千円
		雑収益 10千円
		収益事業等 116,733千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 25,925千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 36,238千円
		自主事業収益 (乗物) 54,570千円
		法人運営事業 14,900千円
基本財産運用益 14,900千円		
30年度	526,295千円	公益目的事業 379,750千円
		基本財産・特定資産運用益 2,163千円
		参加者負担金等収益 27,382千円
		助成金収益 300千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 14,279千円
		受託事業収益 (県、国) 321,016千円
		補助金等収益 14,600千円
		雑収益 10千円
		収益事業等 131,645千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 30,215千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 36,962千円
		自主事業収益 (乗物) 64,468千円
		法人運営事業 14,900千円
基本財産運用益 14,900千円		
31年度	521,080千円	公益目的事業 369,691千円
		基本財産・特定資産運用益 2,163千円
		参加者負担金等収益 27,510千円
		助成金収益 300千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 14,564千円
		受託事業収益 (県、国) 321,016千円
		補助金等収益 4,128千円
		雑収益 10千円
		収益事業等 136,489千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 30,818千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 37,699千円
		自主事業収益 (乗物) 67,972千円
		法人運営事業 14,900千円
基本財産運用益 14,900千円		
32年度	522,975千円	公益目的事業 368,934千円
		基本財産・特定資産運用益 2,163千円
		参加者負担金等収益 27,645千円
		助成金収益 300千円
		自主事業収益 (工芸工房村等) 14,854千円
		受託事業収益 (県、国) 321,016千円
		補助金等収益 2,946千円
		雑収益 10千円
		収益事業等 139,141千円
		自主事業収益 (湖畔有料等) 31,432千円
		自主事業収益 (あいかわ公園) 38,451千円
		自主事業収益 (乗物) 69,258千円
		法人運営事業 14,900千円
基本財産運用益 14,900千円		

(別添) 様式 1

(2) 支出 (H28 中長期経営計画策定時推計：平成 27 年度決算額をもとに推計)

年度	総支出 (千円)	内訳	
28年度	506,162千円	人件費	257,836千円
		直接事業費	240,078千円
		公益目的事業	204,303千円
		収益事業等	30,850千円
		法人運営事業	4,925千円
		共通経費	3,118千円
29年度	517,682千円	減価償却費	5,130千円
		人件費	283,060千円
		直接事業費	213,345千円
		公益目的事業	178,710千円
		収益事業等	34,405千円
		法人運営事業	230千円
共通経費	15,907千円		
30年度	525,980千円	減価償却費	5,370千円
		人件費	294,001千円
		直接事業費	203,744千円
		公益目的事業	177,965千円
		収益事業等	25,549千円
		法人運営事業	230千円
共通経費	16,005千円		
31年度	520,436千円	減価償却費	12,230千円
		人件費	294,892千円
		直接事業費	192,915千円
		公益目的事業	167,095千円
		収益事業等	25,590千円
		法人運営事業	230千円
共通経費	16,005千円		
32年度	520,221千円	減価償却費	16,624千円
		人件費	295,789千円
		直接事業費	192,874千円
		公益目的事業	167,095千円
		収益事業等	25,549千円
		法人運営事業	230千円
共通経費	16,005千円		
		減価償却費	15,553千円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

県指定管理、国受託等受託事業の確実な実施による収入の確保
 経営目標値を設定した乗物、駐車場、売店等の収益事業による収入の確保
 経営目標値を設定した工芸工房村体験、クラフト体験等自主事業による収入の確保
 市場の金利動向等を勘案し元本保全の安全性と収益性を確保した基本財産、特定資産の運用
 受益者負担の視点に立ったカヌースクール、24 時間リレーマラソン等参加者負担金

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

神奈川県、相模原市、厚木市、愛川町、清川村は、公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団を当該都道府県及び市町村における地域連携DMOとして登録したいので公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	志村 政浩
担当部署名（役職）	総務経営課長
所在地	神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-4
電話番号（直通）	046-288-3535
FAX 番号	046-288-3961
E-mail	shimura.m@miyagase.or.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	神奈川県
担当者氏名	牧 洋樹
担当部署名（役職）	政策局政策部土地水資源対策課水政室グループリーダー
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 1
電話番号（直通）	045-210-3123
FAX 番号	045-210-8820
E-mail	maki.0xer@pref.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	相模原市
担当者氏名	平田 武
担当部署名（役職）	環境経済局経済部津久井地域経済課総括副主幹
所在地	神奈川県相模原市緑区中野 633
電話番号（直通）	042-780-1405
FAX 番号	042-784-7474
E-mail	tsukui-keizai@city.sagamihara.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	厚木市
担当者氏名	小野間 善雄
担当部署名（役職）	産業振興部観光振興課長
所在地	神奈川県厚木市中町 3-17-17
電話番号（直通）	046-225-2820
FAX 番号	046-223-0174
E-mail	3850@city.atsugi.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	愛川町
担当者氏名	奈良 幸広
担当部署名（役職）	環境経済部商工観光課長
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町角田 251-1
電話番号（直通）	046-285-2111 内線 3520
FAX 番号	046-286-5021
E-mail	syoko@town.aikawa.kanagawa.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	清川村
担当者氏名	折田 克也
担当部署名 (役職)	政策推進課長
所在地	神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷 2216
電話番号 (直通)	046-288-1213
FAX 番号	046-288-1767
E-mail	kikaku@town.kiyokawa.kanagawa.jp